

ごうぐら瓦版

ごうぐら瓦版(号外)
 発行日
 2020年12月10日
 発行元
 郷倉保存会事務局
 〒420-0911
 静岡県静岡市葵区
 瀬名3丁目18
 電話 (伊久美)
 054-263-9259
 ホームページ
<https://gougra.jimdo.free.com/>



コレラの大流行

あなたは、御存知でしょうか？
 幕末から明治にかけて、現在の
 新型コロナウイルスのように大
 流行した「コレラ」のことを。

コレラとは

なま水やなま物を介して伝染
 する病気です。症状は下痢と嘔
 吐を繰り返す、体内の水分がな
 くなり、脱水症状をおこして悪
 化すれば、死にいたる病気です。
 発症して2〜3日で死亡するこ
 ともあったため、コロリと人が
 死ぬのと、コレラという病名を
 かけ「狐狼狸・コロリ」と呼ば
 れていました。

もともとは、インド（ガンジ
 ス川）特有の伝染病でしたが、
 イギリスがインドを完全に支配
 するようになった1817年、
 世界的にコレラの流行が起きま

した。文政5年（1822）8
 月、日本も中国経由でコレラが
 確認されました。

安政5年（1858）コレラ
 に感染した乗組員を乗せたアメ
 リカ軍艦が長崎に入港。コレラ
 も日本上陸。次々と感染が拡大
 し、多くの日本人の命が失われ
 ました。人々は「怨霊のせいだ」

「長崎に停泊したアメリカ人が
 飼っていた狐から病気がうつつ
 た」と噂するようになり、おみ
 こしを出したり、獅子頭をかっ
 いだりして、この悪霊を追い払
 いました。

明治12年（1879）日本史
 上最悪のコレラが流行しました。

これらは水による感染が多く、
 夏に活発となることから、「な
 ま水をむやみに飲まない」「換
 気によって部屋を乾燥させる」
 「生ものや傷んだものを食べな
 い」といった、具体的な対策が
 広まりました。



虎の頭部に狼の胴体、狸の巨大な睾丸を持つ奇怪な動物に、「石炭酸」と思われる大瓶を噴射させても退治できない様子を描いている。そして、「虎列刺の奇薬」として、梅酢の効果を紹介している。

木村竹次郎 (画) の「虎列刺退治」と題した錦絵 (東京都公文書館所蔵)

コロリ異聞

明治十五年（1882）北沼上村にコロリ（今のコレラ）が流行して多くの死者を出したことがあった。その頃、北沼上村で長尾村の清福寺の檀家が十三軒あったという。

この十三軒の檀家の全戸であつたかどうか知らないが、コロリで亡くなった人の遺骨を納めに行ったところ、長尾部落は挙つて竹槍を構えて、村の入口から入れないように拒否したことから、始まった紛争は焼け木杭のようにくすぶり、漸くして昭和十年頃（1935）和解して、良富院へ十三軒の墓が移されることになったという。古い話ではないのだが、コロリという病気のなしたわざである。生きてゐる人達の災いはともかく病死者は、とんだ災難の浄土と嘆いた事だつたらう。



中川雄太郎（著）『村と伝説』より転載

明治天皇の

「コレラ撲滅に関する勅諭」

“人生最大のわざわいは病毒であり、わけてもいちばん悲惨なのは伝染病だ。倒れる者に貧しい者や弱い者が多いのはあわれである。病気の原因がわかり、治療方法もできあがつて、患者が死ぬことなく、誰もが簡単に予防できるようにし、衛生の成功をおさめてほしい。”

明治12年8月22日に発せられた勅諭

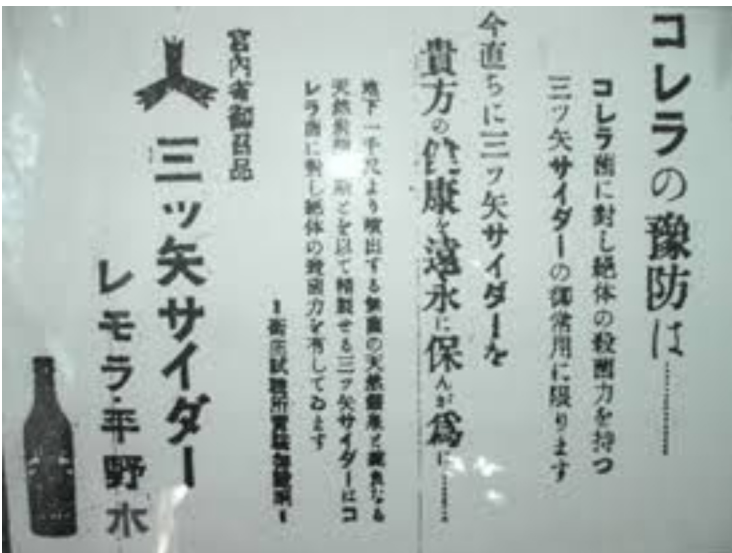
コロナ禍を乗り切りましょう

明治17年（1884）、ドイツの細菌学者ロベルト・コッホは、コレラ菌が伝染病であることを突き止め、その後ペニシリンを始めとした治療薬が次々と発見され、たくさんの命が救われました。明治時代を通じて、コレラによる死者の総数はおよそ37万人にもなったそうです。

明治の感染予防法（感染対策）

- 1 お腹を冷やさないように腹巻をする。
- 2 熱していない野菜や果物は食べない。
- 3 飲み水は、一度沸かして飲む。
- 4 疲れすぎないようにする。
- 5 家の中を消毒。トイレ、水回りを清潔にする。
- 6 大勢で集まらない。

これは日清・日露戦争の死者数、約8万4千人を大きく上回ります。コレラに対して、一人一人の注意や意識が強かったからこそ、流行が収まったのだと思います。コロリの時の教訓があるからこそ、日本では新型コロナウィルスでの死者が少ないのかもしれない。日頃から体調に気をつけ、ストレスをためないように、元気に乗り切ってください。



炭酸飲料はコレラの予防薬として、国民的ブームを迎えた